

# 農業再生ビジョン～持続可能な農業の確立を目指して～

## ◇経営の多角化・大規模化による収益の向上

- ・ 様々な用途の米の需要への対応と競争力強化
- ・ 作期を拡大することによる土地、機械、施設等の有効活用
- ・ 大規模経営体を中心とした。効果的な低コスト・省力化

- ・ 水田フル活用
- ・ 水稲育苗ハウス等の有効活用
- ・ 「水稲＋園芸」の体系確立

## ◇地消力の強化による島外販売戦略

- ・ 生産者と消費者をつなぐ ⇒ 地域内商社機能の創出
- ・ 生産基盤と栽培技術の継承 ⇒ 再生した耕作放棄地の活用  
⇒ 作物栽培の優良技術の継承

- ・ コールドチェーン（低温物流）体制  
⇒ 島外販売のための農産物の鮮度保持

## ◇超省力・高品質生産を実現する次世代型農業の推進

- ・ ICT技術等の活用  
⇒ 徹底的なデータ管理  
⇒ 次世代型のスマート農業の確立
- ・ 自然エネルギー等を活用  
⇒ 農産物の低コスト安定生産  
⇒ 高付加価値化による収益性の向上
- ・ GAP認証の理解度の向上と消費者から選ばれる農産物

## 目指すべき佐渡市の農業産出額100億円

### 目標達成に向けてのKPI（重要業績評価指標）

指標	現況（2017年）	目標（2023年）
耕地面積15ha以上の農業経営体数	53経営体	90経営体
新規就農者数	6経営体/年	10経営体/年
戦略作物 島外出荷量	32.2 t	70.0 t

## ◇地域の農業を担う 多様な担い手の活躍の支援

- ・ 農業公社を活用  
⇒ 新規就農者の確保・育成
- ・ 移住・定住対策と連携  
⇒ 移住就農の促進
- ・ 若者×農業「出会いの場」の確保
- ・ 農地中間管理事業等の戦略的活用
- ・ 担い手の経営体の強化・発展

- ・ 法人化支援
- ・ 農地集積
- ・ 農地整備

## ◇地域の強みを生かした里山の振興

- ・ トキと共生する佐渡の里山や里海で育まれた世界農業遺産の保全・継承に資する商品を認定 ⇒ 差別化販売

- ・ 佐渡産食材のブランド化
- ・ 環境保全型農業と耕畜連携によるオール佐渡産作物
- ・ 各種制度を活用した農村の荒廃防止